

第8回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 2019年12月3日（火）13時00分～14時30分
2. 開催場所： Daiwa リバーゲート 11階
3. 審議委員出席者：
委員総数 7名
出席委員の氏名 音好宏氏（委員長）・入江たのし氏・五井千鶴子氏・棚橋節子氏
桧山珠美氏・細川幸一氏・万場徹氏
4. 事業者側出席者：
SC サテライト放送株式会社
代表取締役社長 佐々木良太
取締役 上原宏一・星野友昭

ジュピターショップチャンネル株式会社
プランニング&プログラミング本部 プログラミング部長 宇都宮貴吉

日本テレビ放送網株式会社
事業局担当局次長 兼 有料放送事業部長 面高 直子
事業局有料放送事業部 担当副部長 八田 元彦
報道局 サイバー戦略部
「日テレNEWS 24」プロデューサー 小林 整司
5. 番組審議：
SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議
① 「ショップチャンネル」(055ch)
「ショップチャンネル 4K」(BS11ch)
審議番組： 極薄あったかインナー パフュールソフト
放送日時： 2019年9月23日（月） 10:00～11:00

●審議委員意見

- 番組で紹介されたインナーは、3枚セットの販売で、3色とも色が異なっていたが、（番組内で）しっかり色の説明があったので、あまり混乱はなかったように思う。
- （この商品は）女性用の下着で、表に影響がでない、いわゆるストッキング素材の作り方ということで、おおよその想像はつくものの、取扱表示があればよいと思った。
- （番組内でこの商品：インナーと）上に合わせるカーディガンやセーターなど、プロの観点での具体的な色に関するアドバイスがあったので、とても参考になった。
- 法律上では、広告への記載が義務付けられていないものの、（一般の）製品のタグについているようなレベル（の情報）の表示を検討されたらもっとよくなるのかなと思った。
- トープという耳なじみのない色の名前が出てきたが、トープの色味について、もっと説明があるとよいと思った。

- （司会者が番組内で）フリップを手を持って説明していたが、フリップが揺れていたのが気になった。（立てかけるなどしてフリップを）固定すればいいのにな、と思った。
- 送料の説明がよくわからなかった。（フリップ内に）「3Lサイズで1点につき 2,700 円」との表記があり、3L サイズとは何を指すのかわからず、疑問が残った。
- 司会者がピーチの商品を紹介する際、自身の手の色とピーチの色をあわせて、「肌の色と近い」との説明があり、このような表現はわかりやすく丁寧だな、と感じた。
- （この商品は）素材が日本製、と紹介されていたが、番組途中でイタリア製という単語も出てきた。イタリア製の編み機を使用しているとのことであったが、途中から、この商品が日本製なのか、イタリア製だか、よくわからなくなってしまった。
- 司会者の説明が上手だと感じた。テレビで、暖かい、冷たいを伝えるのが難しいが、暖かいということが伝わった。
- フリップの文字が以前より小さく感じ、自宅の TV で見ると、細かい部分が見えづらかった。
- 全体として、臨場感、生感があって、番組づくりとしてうまく視聴者に伝わっていると感じた。

●事業者発言

- この日は終日、いいね！がいっぱい Let's ショップチャンネルのイベントを行い、人気アイテムをお手ごろ価格でご紹介した。よって、今回の商品も、4,000 円以下と比較的安価な商品を紹介し、多くのお客様にお買い上げいただいた。
- フリップのゆれにつき、今回は立ってフリップの説明を行ったため、少し揺れてしまったところがある。できる限り動かさないようにしたい。
- 送料のフリップに記載されていた、3L サイズ等の表記は、梱包サイズの表記。この番組でご紹介したかったことは、今回の商品は送料 S サイズなので、同日に他に 5 商品購入いただければ、6 点までは、送料 648 円までということであった。皆さんがそう思わなかったということは、フリップの内容または、説明内容を変えることも検討した方がよいと感じた。

② 「日テレNEWS24」(349ch)

審議番組： 「Late Afternoon News」

放送日時： 2019 年 9 月 6 日（金）16 時～16 時 30 分

審議番組： 「Daily Planet」

放送日時： 2019 年 9 月 9 日（月）21 時～21 時 30 分

●審議委員意見

- 画面上に、4:00 と時刻が表示されていたが、午前なのか、午後なのかわからなかった。
- 時計代わりに 24 時間ニュースをつけることもあると思うので、16:00 と表記するか、時刻の前に PM とつけた方がよいのではと思った。

- 高齢者ドライバーが運転する車が線路に転落したニュースがブレーキングで入ってきたが、原稿がないと推測される中、アナウンサーは非常に冷静で的確な表現をしていた。
- 官房長官の会見を全編通して初めて見たが、新たな気付きや発見もあった。
- 高齢者ドライバーの車が線路に転落したブレーキングニュースの際、画面下に流れるテロップでは京急での電車事故の内容が流れていて、どちらも電車が関わる事故であったため、少し混乱してしまった。
- テロップの文字も、ニュースの冒頭のタイトルの文字も、どちらも大きく、非常にみやすいと感じた。
- 高齢者ドライバーの車が線路に転落したブレーキングニュースで、当初ホームへ転落という内容から、線路へ転落と変わったところに、ライブ感を感じた。
- 官房長官の会見の生中継は、貴重な映像であり聞き入ってしまった。とても参考になった。
- ブレーキングニュースの入れ方と終わり方が気になった。(ブレーキングニュースの特性上、) 臨機応変に切り替えるというのは必要なのかもしれないが、予告なしにいきなり切り替わったため、違和感があった。
- 編成への期待として、地上波とは異なるものを、できるだけ早く流していただければと思う。また、30 分の短いニュースが多いが、少し尺の長いものも編成に入れていただければと思った。
- 「日テレ NEWS24」のよいところは、災害時に情報を早く出そうとしているところであり、情報を早く、できるだけ多く出す、という展開ができると、このチャンネルをより接触することに繋がると感じた。

●事業者発言

- 時間の表記は盲点であった。システム改修も伴うため、時間を要してしまうが、PMをつけるか、24 時間表記にするか検討したいと思う。
- 会見に関しては、全部を伝えることができるというのが 24 時間のニュースの強み、かつやるべきことだと考えており、重要な会見に関し、基本的には質問を含め、全て伝えるようにしている。
- ブレーキングニュースの飛び乗り・飛び降りに関しては、スピード感の問題であり、タイミングをあわせようとすると段取り踏む必要が出てきてしまう。
- 鹿児島転落事故のように、NNN各局との非常な緊密な連携により、ブレーキングで流すことができている。
- ブレーキングのみならず、地方局が報道特別番組を放送する場合も、そのままN24でも流すようなことも行っており、これは大きな強みだと思っている。